

**1. 病院・福祉部会合同研修会第2回（担当：病院・福祉部会）要TEL申込 残席あり**

日時 平成24年1月18日（水）18：30～20：00（受付18：00）  
会場 大阪府社会福祉会館 3階 第2会議室  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m  
受講料 会員無料・会員外2,000円（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。）  
内容 「PPN（末梢静脈栄養）、TPN（中心静脈栄養）について」  
講師 ㈱大塚製薬工場 学術部専任課長 下田 充啓

**2. 平成23年度 生活習慣病予防のための食生活セミナー（担当：事業部）要TEL申込 残席あり  
協賛：日清オイリオグループ㈱（生涯学習1単位振替認定）**

日時 平成24年1月29日（日）13：00～16：50（受付12：30）  
会場 大阪府社会福祉会館 5階ホール  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m  
内容 開会あいさつ ㈱大阪府栄養士会 会長 酒井 欣吾  
講演Ⅰ 「動脈硬化と食環境～脂質異常症の食事療法を焦点に～」  
講師 お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 教授 近藤 和雄  
講演Ⅱ 「機能油脂等の有用性について」  
講師 日清オイリオグループ㈱ 勝原 俊二  
講演Ⅲ 「植物油、その機能性について～生活習慣病の観点から～」  
講師 日清オイリオグループ㈱ 野坂 直久  
閉会あいさつ ㈱大阪府栄養士会 副会長 藤原 政嘉  
参加費 無料

**3. 集団健康管理部会研修会（担当：集団健康管理部会）要TEL申込 定員30名**

日時 平成24年2月15日（水）18：30～20：00（受付18：00）  
会場 エル・おおさか 南館7階 南72号室  
交通 京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅西へ徒歩約5分  
受講料 会員無料・会員外2,000円（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。）  
内容 「食肉の知識～お肉の特性と流通～」  
講師 ㈱弘豚社 代表取締役 菅野 浩二  
牛肉・豚肉・鶏肉の特性と流通についてや、福井の“ユッケ”食中毒の流通過程と0-157の情報などをお話していただきます。日頃、肉類についての疑問がありましたら、どんな事でも肉のプロとしてお答えいたします。皆様の為になる研修会にぜひご参加ください。

**4. 地域活動部会研修会（担当：地域活動部会）要TEL申込 定員50名**

日時 平成24年2月25日（土）13：30～16：00（受付13：00）  
会場 大阪社会福祉指導センター 研修室（1）  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m

受講料 会員無料・会員外2,000円（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。）

- 内容
1. 実習 アルコールパッチテスト 13:30～14:00  
健康展などのイベントとして簡単にできるアルコールパッチテストを実習します。
  2. 講演 「肝臓病の食事」 14:00～16:00  
講師 高松診療所 院長 高松 正剛  
慢性肝炎の食事について、患者教育にも熱心な先生にわかりやすく解説していただきます。また、日頃の栄養指導での疑問にもお答えいただけます。多数のご参加をお待ちしています。

## 5. 平成23年度子ども料理教室「健康おおさか21」推進事業

（主催：(株)大阪府栄養士会 担当：社会活動部）

目的 子どもの食生活は人の一生の食行動につながると言われています。食事の大切さを楽しく学習することで、食に対する関心や興味が深まり、正しい食習慣を身につけることができます。

「健康おおさか21」に提唱されている健康づくりの一環として、子どもの心身の健康を願って、子どもの料理教室を地域で開催し、栄養士の活動をアピールすると共に対社会活動を実施し、本会の活性化と組織の強化を図ることを目的とします。

	協力地域活動栄養士会
	交野・畷・大東地域活動栄養士会「メープル」
日時	平成24年3月10日（土） 10時～13時30分
会場	交野ゆうゆうセンター 3階 調理室1
内容	「野菜バリバリ 朝食モリモリ」 ～みんなで作って、いただきまーす！～
持ち物	筆記用具・エプロン・三角巾・ふきん・スプーン・フォーク
参加対象	小学生5・6年生 20名（先着順）
参加費	200円
申込締切	平成24年2月10日（金）

申込先：社団法人 大阪府栄養士会事務局 月～金 10:00～18:00  
TEL 06-6943-7970

## 6. 第16回大阪府栄養士会研究発表会（担当：事業部）要TEL申込 定員200名

（生涯学習1単位振替認定）

**趣 旨** 本研究発表会は、今回で16回目を迎えます。この研究発表は、会員の技術及び知識の向上を図り府民の栄養改善・健康の増進に寄与することを目的としております。会員の方々が各職域での栄養指導等実践的な活動を発表していただき、栄養士業務に関する情報交換が気軽にできる場として活用され、栄養士の専門的職能を幅広く展開し資質を高めることをねらいとしております。

**日 時** 平成24年3月17日（土） 13：00～18：00（受付12：30）

**会 場** 大阪リバーサイドホテル 4階会議室

**交 通** JR環状線「桜の宮」駅西出口約2分

**受 講 料** 会員無料・会員外2,000円（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は100円とし、受付は開催日1週間前より行います。）

**内 容** 教育講演「肥満・メタボリック症候群  
-メタボにならない脳のつくり方-」 13：10～14：40

講 師 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授 森谷 敏夫

**研究発表** 座 長 医療法人良秀会 藤井病院 栄養科 科長 下出 眞知子

14：50～15：40

### (1) 安全で食べ易い食形態の追求

○岩崎 恵、中地七菜子（茨木医誠会病院）

要旨：当院は、ケアミックス型の病院です。安全で美味しく食べ易い食形態が常日頃より求められています。今回は、他職種協働にて副食形態の検討、嚥下食改良に向け取り組んできた成果を報告したいと思います。

### (2) 血液透析患者の継続栄養指導の有用性についての検討

○竹山育子<sup>1)</sup> <sup>3)</sup>、今井佐恵子<sup>2)</sup>

（大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科<sup>1)</sup>）

（大阪府立大学 総合リハビリテーション学部 栄養療法学科<sup>2)</sup>）

（寺川クリニック<sup>3)</sup>）

要旨：透析クリニックにおいて慢性透析患者の良好な予後、QOLの維持向上を図ることを目的とし、継続的に栄養指導を行っている患者に対して簡単調理をキーワードに調理実習を実施したので報告する。

### (3) 「高槻集団給食研究会における

摂食・嚥下に関する食事形態等の情報共有に向けて」

○井戸由美子（特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院）

上村和代、渡辺美弥（高槻市保健所）

森本真佐子（学校法人 大阪医科大学付属病院）

鈴木路子（オレンジホスピタル）

原田亜紀（啓友クリニック）

松村祐佳（高槻市立養護老人ホーム）

藤野 操（特別養護老人ホーム 高槻荘）

要旨：本会では、患者・利用者のQOL向上を目指し、摂食・嚥下に関する食事形態等の情報を病院・施設間で円滑に伝達する為、食事情報を収集し写真入り資料として完成させた。その経過及び各施設での活用等を報告する。

(4) 栄養管理計画書実施における取り組み

- 佐々木菜緒、半野明子、米田知恵子、後藤由香里  
(医療法人 明和病院 栄養科)

要旨：当院では紙カルテから電子カルテへシステム変更となり、従来の栄養管理計画書運用方法では対応できない事態が発生するようになった。院内での運用方法を見直し、各職種へ働きかけた結果、改善傾向にあるため経過を報告する。

(5) 施設入居者の食事形態とADLの関連性

- 今井紀代子 (特別養護老人ホーム アンスランツァ桜川)  
山本華代子 (特別養護老人ホーム ひまわりの郷)  
谷本江梨子 (グループホーム こみち)  
住吉志津江 (特別養護老人ホーム 香里寿苑)

要旨：施設入居者の食事行為が自立から全介助状態に変化していくと食事形態との関連を身体状況 (疾病、体重の増減、栄養状態等) とともに検証を行った。

座 長 帝塚山学院大学 人間科学部 食物栄養学科 奥田 豊子

15 : 50~16 : 40

(1) 食育SATシステムの活用による健康行動変容に対する効果についての一考察

-保健指導での活用結果を事例に-

- 徳島沙知、蓮井理沙、寺原美穂子 (高槻市健康づくり推進課)

要旨：保健指導の取り組みが難しい壮年期男性に有効なプログラムの構築を目的として、メタボリックシンドローム予備軍の本市職員4名を対象に食育SATシステムを取り入れた保健指導プログラムに6か月間モデル的に取り組んだ結果、行動変容とともに体重と腹囲の減少効果を得られたことについて報告する。

(2) 「歌で食育」-楽しい食育-

- 森下京子 (堺市立久世小学校)

要旨：食育をするときの「つかみ」や「まとめ」に食育の歌を歌っています。オリジナルや替え歌など全部で30数曲あります。こんな食育もあるんだ。と見ていただけたらと思います。

(3) 継続して実施している意見交換会の成果

(ヘルスアップ食堂意見交換会を実施して)

- 栗田晴美 (パナソニック健康保険組合 健康開発センター)

要旨：2008年よりグループ内委託給食会社のスタッフを対象に、意見交換会 (メニュー提供方法の工夫をグループワーク) を毎年開催している。取り組み内容の共有化・メニュー内容のレベルアップを目指し、テーマに沿った内容を企画。その後アンケート調査により、取り組み内容の変化を探り、社員食堂の新しい目標へつなげる。

(4) 健康教室における仲間づくりに焦点をあてたアプローチ

- 矢澤彩香 (大阪府立大学 総合リハビリテーション学部 栄養療法学科)

要旨：生活習慣の改善をする際、周囲からの支援が重要な役割を果たすことが報告されている。本研究では、仲間づくりに焦点をあてた方法を検討したのでその結果について報告する。

座 長 大阪青山大学 健康科学部 健康栄養学科 教授 戸田 洋子

16：50～17：50

(1) インスリン自己免疫症候群患者への低血糖発作予防の試み

○那須美恵、中井智明、井上文子、前田浩史  
(市立豊中病院 中央診療局 栄養管理部)

要旨：糖尿病に対するインスリン療法の経過中に出現したインスリン抗体の作用により、低血糖を発症する症例に対し、低血糖予防を目的にコーンスターチの投与が奏効することが知られている。今回サプリメント常用が発作に関与した疑いのあるインスリン自己免疫症候群（IAS）例の低血糖予防に対し、コーンスターチ療法を試みたので報告する。

(2) 退院に向けた栄養指導の効果確認

○寺内京子、葛本千嘉、中尾佳央理、畑 勝智、根来梨絵、平田みのり、  
西川奈緒子、徳永祐子、岸田由岐  
(医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 栄養管理室)

要旨：栄養指導は、患者にとって本当に役立っているのか。患者は満足しているのか、理解しているのか。講義の後で確認テストなどを実施する方法もあるが、今回は入院指導の確認を外来にてアンケート及び聞き取りにて調査した。

(3) 糖尿病患者に対する指示エネルギー量設定の検討

○藤吉恭子<sup>1) 2)</sup>、金石智津子<sup>1)</sup>、鈴木恵美子<sup>1)</sup>、大関知子<sup>3)</sup>  
(社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部栄養科<sup>1)</sup>)  
(大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科<sup>2)</sup>)  
(大阪府立大学 総合リハビリテーション学部 栄養療法学科<sup>3)</sup>)

要旨：2型糖尿病患者を対象に、負担感が少なく継続可能で効果的な食事療法を目指して、安静時代謝量（Resting Metabolic Rate：以下RMR）を測定して個別対応のテーラーメイドな食事療法を実施し、その効果について検討した。

(4) アルツハイマー型認知症を有する2型糖尿病患者にこんにやく米を使用した  
栄養指導により血糖コントロール改善した1例

○金石智津子<sup>1)</sup>、藤吉恭子<sup>1) 2)</sup>、鈴木恵美子<sup>1)</sup>  
(社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部栄養科<sup>1)</sup>)  
(大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科<sup>2)</sup>)

要旨：高齢独居のアルツハイマー型認知症を有する2型糖尿病患者に対し、2年半に渡り多職種連携による栄養指導を実施した。年齢を考慮し本人の食に対する要望を叶える為、こんにやく米を使用したことで指示量の主食で満腹感を得ることができ、介入当初HbA1c9.3%であったが、現在6.2%で安定したコントロールを維持出来た。

(5) 給食材料費について考える～経費に対する意識調査より～

- 西野真咲（医療法人宝山会 小南記念病院）
- 中野忠雄（市立貝塚病院）木村多津（岸和田保健所）
- 岸田由岐（岸和田徳洲会病院）味谷房子（医療法人聖志会 渡辺病院）
- 酒井朱美（介護老人保健施設 岸和田徳洲苑）

要旨：当研究会では、食材料費の無駄について取り組んでみた。まず食材に関するムダ・意識を調査し、その結果をもとに（調理師も含めて）改善策を見出す為の検討を行った。栄養士と調理師では無駄の感じ方に違いが見られた。

## 6. 生涯学習研修会 要TEL申込

- ①日 時 平成24年1月22日（日）13：00～16：10（受付12：30）定員250名  
会場 大阪府社会福祉会館 5階ホール  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m  
内容 「肝臓病の栄養管理」 13：00～14：30  
講師 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 羽生 大記  
「サプリメントの有効性と安全性」 14：40～16：10  
講師 名古屋文理大学 健康生活学部 教授 清水 俊雄  
受講料 各1単位1,000円（選択）・会員単発受講1単位2,000円・会員外1単位3,000円  
（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は1単位100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。）
- ②日 時 平成24年2月8日（水）18：30～20：00（受付18：00）定員200名  
会場 大阪府社会福祉会館 4階 401号室  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m  
内容 「咀嚼・嚥下困難者への最新トピックス」  
講師 大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部 外来医長 野原 幹司  
受講料 1単位1,000円（選択）・会員単発受講1単位2,000円・会員外1単位3,000円  
（ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は1単位100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。）
- ③日 時 平成24年2月26日（日）13：00～16：10（受付12：30）定員250名  
会場 大阪府社会福祉会館 5階ホール  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、  
地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅2番出口北へ500m  
内容 1単位1,000円（選択） 13：00～14：30  
「潰瘍性大腸炎・クローン病の食事と栄養管理」  
講師 兵庫医科大学 内科学下部消化管科 准教授 中村 志郎  
1単位1,000円（選択） 14：40～16：10  
「栄養指導におけるカウンセリングスキル」  
講師 国立病院機構 京都医療センター  
臨床研究センター予防医学教室 松岡 幸代

受講料 1 単位1,000円 (選択)・会員単発受講 1 単位2,000円・会員外 1 単位3,000円  
(ただし管理栄養士・栄養士養成学校学生は 1 単位100円とし、  
受付は開催日1週間前より行います。)

④日 時 平成24年3月11日(日) 13:00~16:10 (受付12:30) 定員250名  
会場 大阪府社会福祉会館 5階ホール  
交通 地下鉄谷町線「谷町六丁目」駅4番出口南へ200m、「谷町九丁目」駅2番出口北へ500  
m  
内容 1 単位2,000円 (必須V)

「栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成と実際」

～なぜ栄養アセスメントを行うのか～

〈基調講演〉 13:00~14:00

講師 梶山女学園大学 生活科学部 教授 加藤 昌彦

〈シンポジウム〉 14:10~16:10

座長 梶山女学園大学 生活科学部 教授 加藤 昌彦

シンポジスト

障がい者支援施設 隆光学園 竹内 小夜子

特別養護老人ホーム ホーム太子堂 松木田 美津子

(医) 聖志会 渡辺病院 栄養課 味谷 房子

受講申込み (社) 大阪府栄養士会事務局 TEL06-6943-7970  
月曜~金曜 10時~18時